

令和3年度 活動紹介票

	団体名	特定非営利活動法人盛岡まち並み塾	代表者 職・氏名	理事長 海野 伸
住所	岩手県盛岡市鉾屋町3番15号		電話	019-656-1603

事業内容

助成区分		一般枠
事業名称		歴史的まち並みの保存活用地区の資源と暮らしの関係性の可視化ツールの作成と岩手県内団体のネットワーク化体制強化事業
主な活動地域		盛岡市
取組概要	目的	(1)歴史的まち並みの保存活用地区の資源と暮らしの関係性の可視化ツールの作成 本事業においては、歴史的まち並み保存活用地区の資源がどのように地域住民の暮らしに関係しているかを顕在化・可視化できるようなツール(地域資源と暮らしが関わりあっていることがわかるようなキッド)を作成するものとする。 制作過程においては、歴史的まち並みの魅力が、丁寧に波及していくきっかけとなり、歴史的まち並みの価値の理解意識の醸成につながっていくことを目指す。地域内においては、地域住民に対して魅力を再発見・再確認するためのツールや地域の小学校に対しての教材としても活用するものを作成することを目指す。地域外においても、地域資源発見・情報提供ツールとして使用できるよう、汎用性のある設計を目指すため、歴史的まち並みの保存活用地区の資源発見フレームシート(作成マニュアルのようなもの)を作成するものとする。 (2)岩手県内の歴史的まち並み保存団体とのネットワークづくり検討 本事業においては、情報提供会及び勉強会を2回開催し、ネットワーク化の今後の体制等について検討をさらに行うこととする。
	内容	(1)歴史的まち並みの保存活用地区の資源と暮らしの関係性の可視化ツールの作成 ・可視化ツール作成検討 →昨年度の調査及び今年度実施ワークショップ資料等の見直しを行い、設計に必要な情報精査を行った。 ・可視化ツール作成 →作成検討で精査した情報からさらに要点を抜き出し、ツールに掲載する文章とレイアウトの構成設計を行った。 (2)岩手県内の歴史的まち並み保存団体とのネットワークづくり検討 ・ネットワークづくりのための情報収集 →岩手県内の歴史的まち並み保存活用団体から、ネットワークにおいて実施してほしい内容の調査を行うものであり、県内団体10団体に対して意向調査を配布し、4団体から結果を回収した。 ・ネットワーク化をさらに進めるための、情報共有会及び勉強会(全2回) →上記調査結果をもとに、ネットワーク化の進め方についての勉強会を開催した。、また、先進的な取り組みを行っている団体を講師をとして招き、取り組み内容を紹介していただき、参加団体の気運を醸成していき、今後のネットワーク化の取り組みの方向性について意見交換を行った。12月11日(土)に第1回目を開催、1月22日(土)に第2回目を開催した。
	成果 (将来計画)	【アウトプット目標と成果】 目標1 ・歴史的まち並みの保存活用地区の資源と暮らしの関係性の可視化ツールの作成のワークショップ参加者(近隣小学校児童を含む地域住民20人) 成果1 ・大慈寺小学校6年生とまち歩き及びワークショップを開催した。地域住民でもある当NPO法人から4名がファシリテーターとして参加。大慈寺小学校6年生児童25人・教員1人が参加し、合計30名、150%の達成率であった。 目標2 ・歴史的まち並みの保存活用地区の資源と暮らしの関係性の可視化パンフレット1,000部と歴史的まち並みの保存活用地区の資源発見フレームシート1,000部の作成 成果2 ・可視化パンフレットは1,000部、歴史的まち並みの保存活用地区の資源発見フレームシートは1,000部作成し、達成率は100%であった。 目標3 ・岩手県内の歴史的まち並み保存活用団体のネットワーク参加団体(10団体) 成果3 ・岩手県内の歴史的まち並み保存活用団体のネットワーク参加団体は、3団体であり、達成率は30%であった。 【アウトカム目標と成果】 目標1 ・歴史的まち並みの保存活用地区の資源と暮らしの関係性の可視化ツールの作成による地元愛着度の向上(イベントや事業の参加者数の向上10%向上) 成果1 ・今年度は新型コロナウイルスのため、イベント等の実施を行わなかったため、愛着度の把握は図ることができなかった。次年度以降のイベント時に把握したい。 目標2 ・岩手県内の歴史的まち並み保存活用団体とのネットワーク化体制の強化による意識の向上(ネットワーク化による有効性を感じる団体の向上) 成果2 ・岩手県内の歴史的まち並み保存活用団体のネットワーク化の勉強会に参加した3団体は全て今後のネットワーク化に賛同しており、ネットワーク化の意義について理解し、意識が向上した。
	事業費(千円)	815千円(うち補助金651千円)

